

2時限

11:00~12:30

恐竜の飼いか

バイオリテラシー入門

みんな「恐竜」は大好き(?)だと思いますが、どうしたらマイ・キョウリュウを手に入れることができ、家で飼うことができるのでしょうか? また、そもそも恐竜にはどんな特徴があり、何故好ましいのかを骨格から探ります。



発達教育学部
早川 雅晴 教授

障害者は世界をどう見ているか

～多様性と何かが 障害インクルージョン論

その人を理解するためには、その人が「何を理解しているか」を知らなければならない。障害者の中には私たちは少し違う感覚や理解の仕方をする人がいる。それを「劣っている」と見ることは正しいだろうか? 少数派の人たちによって社会は進化してきた面もある。さまざまな価値観が共存する多様性に満ちた社会を築くために何が必要か、障害を通して考えよう。筆記用具があれば他は特に必要ありません。頭を柔軟にして参加してください(^^)
【持ち物】筆記用具



発達教育学部
野澤 和弘 教授

身近な素材で手作り楽器

～生活の中の数々な音に耳を傾けよう～ 子どもと表現

生活の中には様々な音があります。その音に耳を傾けると、かなりな精度で何の音なのか推測できます。異なる素材を入れた紙コップを振って音でクイズをしたり、持参の素材で簡単な楽器を作り、他の参加者とアンサンブルを楽しみます。
【準備物】飲み物・食べ物の空き容器(プラスチック、金属、紙など。例えば、乳酸菌飲料やプリンなどの容器、空き缶、お菓子類の空き箱など、中に素材を入れて音がするもの。)
※中に入れる素材は大学で用意します。
※必要に応じて洗って乾かして持ってきてください。



発達教育学部
高木 夏奈子 教授

身体の柔軟性を増すためには

運動療法学

身体が硬いと怪我をしやすと言われる。また、関節の痛みなども発生しやすくなります。身体の柔軟性に関与する要素について考えと共に、実際の方法を紹介いたします。
【準備するもの】実技が可能なゆったりとした服装



保健医療学部
水江 年城 教授

動きにくさ、伝えにくさ

作業療法治療学総論 II

病気や事故だけではなく、加齢など様々な理由により、体を動かすことや気持ちを伝えることが難しくなることがあります。作業療法士はそのような方々に対して、ご本人の希望を可能にし、健康と幸福を目指した支援を行うリハビリテーション専門職です。体の動かしにくさや、気持ちの伝えにくさとその支援を一緒に学びましょう!



保健医療学部
館岡 周平 講師

子どものあそび

～スズランテープを使ってあそぼう!!～ 保育内容(健康)の指導法

子どもは、遊ぶことで心身の発達に必要な経験を積み重ねています。子どもにとって、身体を動かすこと自体が遊びです。保育者は、進んで身体を動かして遊び、楽しい雰囲気をつくることで、子どもの活動意欲を引き出していきます。今回は、スズランテープを使ったあそびを体験してみよう!!
運動あそびのバリエーションを楽しんでください。
【服装】動きやすい服装
【持ち物】上履き・飲み物



こども未来学科
松原 敬子 教授

子どもの遊びから学ぼう

保育内容総論

子どもたちは自分で「やってみよう」と思った遊びを通して多くのことを学びます。教科書のない保育の中で、子どもたちが何をどのように学んでいるかを、子どもたちが好きな遊びの一つである「コマ回し」を体験することを通して一緒に考えましょう!



こども未来学科
久留島 太郎 教授

子どもの目線で学園内を探検しよう

保育・教育入門

就学前の子どもになりきって、面白いものを求めて学園内を探検します。写真を撮ったり、実物を拾ったりして発表します。さて、どんなものを見つけれられるかな? 子どもになりきって探検することで、子どもの見方、子どもの世界に迫ります。子どもの「面白い!」に共感できる保育者を目指します。



こども未来学科
相磯 友子 准教授

【服装】動きやすい恰好、靴でご参加ください。

実際の大学/短大の授業を 高校生が 体験できる特別な時間



昼休み

12:30~13:20

高校生のみなさんも大学生と同じ割引料金で利用できます!

学食体験

※要予約

屋食メニュー

Ku·su ku·su

L棟1階

カニクリームコロッケ定食	¥380
唐揚げカレー	¥300
ロコモコプレート	¥340
醤油ラーメン	¥260
半熟卵ラーメン	¥320



3時限

13:20~14:50



発達教育学部
遠藤 隆志 准教授

障害がある人にとってのスポーツ

パラスポーツ指導論(仮)

「健常者はスポーツをした方がよいが、障害がある人はスポーツをしななければならない」と考えられています。それはなぜでしょうか? 本授業では、障害がある・ないに関係なく、一緒に楽しむことのできるパラスポーツの実践をしながら、障害がある人にとってのスポーツについて学びます。(授業内で簡単なパラスポーツの実技・実践をしますが、特に更衣などの必要はありません)

教材「手品師」を活用した道徳授業

～心の可視化や指導技術を学ぼう～ 道徳教育指導法

道徳教材「手品師」を知っていますか。この教材の扱い方次第で、道徳が好きな人になるか嫌いな人になってしまう可能性があります。なぜなのか、その「種明かし」をお話します。みなさんは、道徳の授業についてどんな印象をもっていますか。印象以前に記憶にないという回答が多いのが事実です。本来、道徳授業は、大変おもしろく、奥深いものです。それが体験できる絶好のチャンスです! どんな方法で授業をするのか、お楽しみに。また、道徳の授業は、心の中を自分や他者に伝える必要があります。どのように心を見えるように工夫するのか、いくつかの手法を紹介します。授業を通して指導技術を学ぶことができるおトク感満載です!



発達教育学部
村上 悦子 准教授

絵本の世界を広げる遊び

保育者・教師論

保育は、保育者が子どもと一緒に心や体を動かす仕事です。絵本は子どもが心や体を動かす保育教材の一つです。保育者は、絵本を通して子どもが感じる驚きや発見、不思議さに出会い、楽しさや喜び、悲しさや怒りなど子どものさまざまな心の動きに寄り添います。こうして読まれた保育者に大切に読まれた絵本は、読み終わった後も、子どもたちの遊びの中で生き続けることができます。本講座では、絵本の世界を味わった後、子どもたちの遊びにつなげるための保育教材を製作します。【持ち物】※感染予防のため、色鉛筆など紙に色が塗れるもの、ハサミ、セロハンテープ



発達教育学部
實川 慎子 准教授

理学療法と筋力トレーニング

運動療法学実習

小、中、高校体育では、身体をほくしたり、筋力や持久力を高める活動をおこなったりして、健康の保持増進や体力向上を目指した取り組みが行われています。それらの取り組みも、理学療法士がおこなう活動の基礎であり、身体機能の回復にも欠かせない技術です。理学療法士は、病気やけがなどによって身体機能が低下した方に筋力トレーニングをおこない、「立つ」「歩く」というような生活動作の改善につなげます。その際、適切にトレーニングをおこなうには、相手の身体をよく理解して運動を処方することが大切です。本授業では、「歩く」動作を例にとり、対象者の歩行能力向上につなげる筋力トレーニングの方法を学びます。
【服装】ジャージなど、動きやすく、汗をかいたら汚れたりしてもよい服装で参加してください。



保健医療学部
窪谷 珠江 助教

子どもの作業療法に必要な姿勢の観察を体験しよう!

発達機能と作業療法評価学

様々な病気や障害をもったお子さんに作業療法を行う時には、姿勢や動きを観察・分析し、生活や活動にどのような影響を与えるか確認していきます(これを「評価」と呼びます)。今日は、姿勢観察の一端と生活上の工夫をご紹介します。【服装】動きやすい服装(スカートは避けてパンツ類で)



保健医療学部
大塚 栄子 講師

【持ち物】筆記用具